

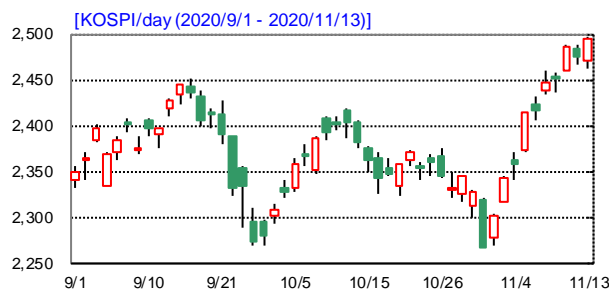


【韓国】 総合指数は週間で 3.2%高と続伸、今週は 2500 ポイントを試すか

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 3.2%高と続伸。総じて買い優勢の展開が続いた。9 営業日ぶりに小反落した 12 日を除いて上昇した。米大統領選で民主党候補のバイデン氏が当選確実となり、米政治の不透明感の後退で買い安心感が広がったほか、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待からリスクオンの動きが強まった。相場の過熱感が上値を抑える場面もあったが、サムスン電子など主力のハイテク株が買われ、相場の上昇をけん引した。指数は連日で 18 年半ば以来、約 2 年半ぶりの高値を更新。13 日は心理的節目の 2500 ポイントの手前で引け、週を終えた。今週は 2500 ポイントを試す展開か。国内外での新型コロナの感染拡大が引き続き懸念材料。国内の経済指標では 16 日までに輸出上昇率改定値、20 日に PPI が発表される。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS 指数は 4.2%高と大幅続伸、今週は新型コロナの感染拡大を警戒か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 4.2%高と大幅続伸。米大統領選、コロナワクチン開発進展を背景に米国株が上昇し、ロシア市場でもエネルギー、空運、金融株が買われた。先週は米大統領選で民主党のバイデン氏の勝利がほぼ確実となった上、ファイザーのワクチンが高い有効性を示したと伝わったことで経済活動正常化への期待が高まり、週明け 9 日に米国株が急伸。海外株高や原油高を追い風に RTS 指数も 9 日に前営業日比 4.9%高となった。その後は世界的なコロナ感染再拡大が上値圧迫要因となったが、12 日は約 2 カ月ぶりの高値で引けた。個別では、エネルギーのノバテック、タトネフチやアエロフロート・ロシア航空、ズベルバンク・オブ・ロシアなどが 2 桁高と好調。今週はコロナ感染拡大状況や原油相場に左右されやすい展開か。

▼指数チャート



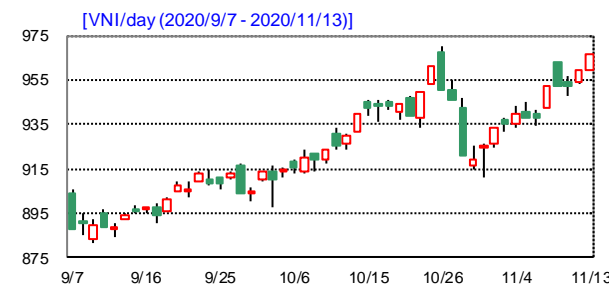
【ベトナム】 ベトナム指数は 3.0%高と続伸、今週は欧米株をにらんだ神経質な展開か

開か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 3.0%高と大幅続伸。米大統領選で民主党のバイデン氏の勝利がほぼ確実となったことや新型コロナワクチン開発の進展による欧米株高が支援となった。週明けは米大統領選でバイデン氏の勝利が確実視されたことが好感され、指数は前営業日比で 1.5%高。その後はコロナワクチン開発の進展で欧米株が上昇した流れが波及する中、金融株の大幅高も重なり、指数を押し上げた。VN 指数は小幅に下落した 10 日を除き 4 営業日で上昇し、1 月 22 日以来の高値となる 966.29 ポイントで週を終えた。個別ではゴム製品ベトナム・ラバー・グループが 11.5%高、空運のベトナム航空が 9.0%高で、軍隊商業銀行が 7.2%、テクコムバンクが 6.5%、ベトインバンクが 5.6%上昇した。今週は欧米株をにらんだ神経質な展開か。

▼指数チャート



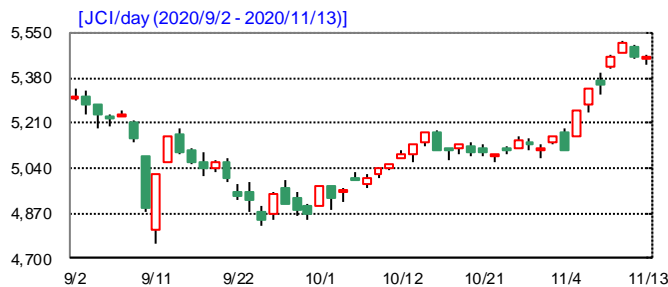


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 2.4%高、今週は 19 日に中央銀行が金融政策決定会合を開催

ジャカルタ総合指数は週間で 2.4%高と 6 週続伸。外部要因に左右された 1 週間だった。週初の 9 日は、米大統領選でバイデン氏の勝利が確実になったことが買い材料視され、指数は 3 営業日続伸。10 日は米ファイザーが開発を進める新型コロナワクチンの治験結果が良好だった効果でさらに 2.0%高となった。11 日には終値で約 8 カ月ぶりの高値を更新したが、12 日は 6 営業日ぶりに反落。13 日も前日からほぼ横ばいで引けている。今週は 16 日に 10 月の貿易統計が発表されるほか、19 日には中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。政策金利は 4.0%に据え置かれるとの見方が優勢となっている。

▼指数チャート

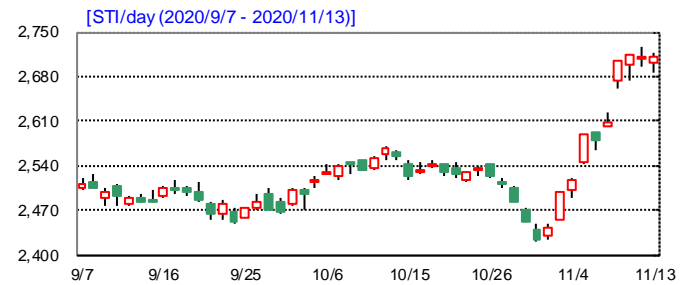


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 5.1%高、今週は 10 月の非石油地場輸出に期待

ストレーツタイムズ指数は週間で 5.1%高と続伸。世界的な株高に連動して上値を広げた。週初の 9 日に前営業日比 1.2%高と反発すると、10 日は新型コロナウイルスの影響を大きく受けてきた銘柄を中心に買い優勢の展開となり、さらに 3.7%高と大幅続伸。11 日には終値で 5 カ月ぶりの高値を更新したが、12 日は米国で開発中のワクチン実用化に対する楽観的な見方が後退したことが売り材料となり、指数は 4 日ぶりに小幅反落した。13 日も前日からほぼ横ばいで取引を終えている。今週は 17 日に 10 月の非石油地場輸出が発表される予定。外部要因では中国の 10 月の鉱工業生産と小売売上高が意識されそうだ。

▼指数チャート

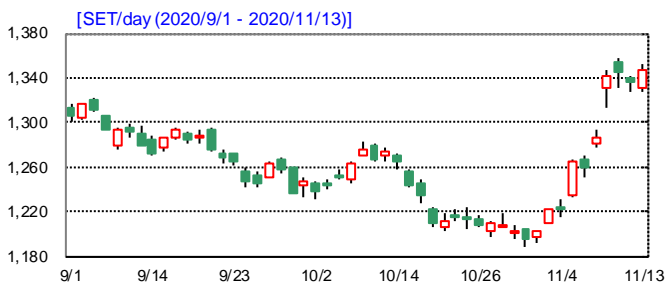


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 6.9%高、今週は 7-9 月期の GDP に対する市場の反応が焦点

SET 指数は週間で 6.9%高と大幅続伸。週前半の上昇が指数を押し上げた。週初の 9 日は、米大統領選の結果を受けて米中貿易摩擦緩和への期待感が高まり、中国株が上昇した流れで前営業日比 2.0%高と反発。10 日は米国での新型コロナウイルスのワクチン開発進展が好感されて、終値でさらに 4.3%高と 1300 ポイント台に乗せた。11 日まで 3 日続伸した後、12 日は反落したが、13 日は買い戻され、終値で 3 カ月ぶりの高値を更新して取引を終えた。今週は 16 日の 7-9 月期の GDP 発表に続き、18 日に中央銀行による定例の金融政策決定会合開催、20 日に 10 月の貿易統計（通関ベース）発表が予定されている。

▼指数チャート

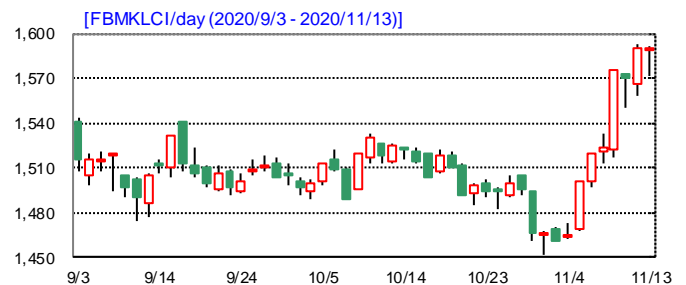


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 4.6%高、7-9 月期の GDP は前年同期比 2.7%減

クアラルンプール総合指数は週間で 4.6%高と続伸。おおむね堅調に推移した。週初の 9 日は、前週末にクアラルンプールでの都市封鎖の期間延長が発表されたものの、世界的な株高が指数を支え、小幅に 4 営業日続伸。10 日は米国でのワクチン開発の進展が買い材料となり、前日比 3.3%高と大幅に上値を広げた。11 日は 6 日ぶりに反落したが、12 日はパーム油価格の上昇で関連株が買われ、指数は前日比 1.3%高と反発。13 日は 7-9 月期の GDP が前年同期比 2.7%減と市場予想から上振れたが効果は限定的で、前日からほぼ横ばいで引けた。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因が指数を左右しそうだ。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。